



とうきょう総文2022

通信 第7号

令和元年12月14日(土)、東京都庁で開催された、第16回生徒委員会の様子をお伝えします。
初めに、令和元年11月に高知県で開催された、第44回全国高等学校総合文化祭(2020こうち総文)プレ大会総合開会式の動画を視聴しました。その後、第46回全国高等学校総合文化祭東京大会(とうきょう総文2022)の大会基本方針や大会テーマ等を踏まえ、とうきょう総文2022の総合開会式で取り組んでみたいことや、イメージ、アイデア等を出し合いました。

<第44回全国高等学校総合文化祭(2020こうち総文)プレ大会総合開会式>



【合唱部、ハンドベル部、書道部によるパフォーマンス】



【グランドフィナーレ】

<とうきょう総文2022に向けた第16回生徒委員会の活動風景>



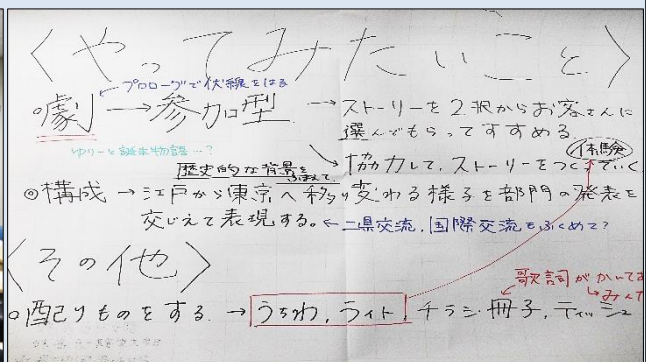
【意見交換の様子①】



【意見交換の様子②】



【全体へ発表する様子】



【生徒のアイデアをまとめた模造紙】

総合開会式に取り入れたいアイデアについて、発表された一部を紹介します。

- ・観客にペンライトを配布し、演出に参加していただくことで、舞台と会場の一体感を高めた発表を行う。
 - ・江戸から東京へと移り変わる歴史や様子を、部門の発表を交えて表現する。
 - ・現代のポピュラー音楽を和楽器で演奏し、観客に伝統文化の魅力が伝わる内容にする。等
- 2月の生徒委員会において、今回の発表を基に、総合開会式等の内容について更に議論を重ねる予定です。